

作成日：2005年04月01日
改訂日：2021年11月01日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 ムサシノ乳酸[®] 50
会社名 株式会社武藏野化学研究所
本社 東京都千代田区丸の内一丁目8番2号
担当部門 品質保証室
連絡先 電話：03-6810-0241 FAX：03-6810-0146
整理番号 L01-04

2. 危険有害性の要約

GHS分類

皮膚腐食性・刺激性 区分1
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分1

GHSラベル

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

注意書き

安全対策

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸引しないこと。
取扱後は製品に触れた部分をよく洗うこと。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置

飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
皮膚（又は髪）に付着した場合、直ちに汚染した衣類を全て脱ぐこと。皮膚を
流水／シャワーで洗うこと。
吸入した場合、空気の新鮮な場所へ移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
汚染された衣類を再使用する場合は洗濯すること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用
していて外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに医師に連絡すること。

保管（貯蔵）

施錠して保管すること。

廃棄

内容物／容器を適切な廃棄方法によって廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 単一製品
化学名または一般名 D L - 乳酸
別名 2 - ヒドロキシプロパン酸
成分及び含有量 乳酸 50 %
化学特性（構造式）
$$\text{C H}_3 - \text{C H} - \text{C O O H}$$

 |
 O H

官報公示整理番号 (2)-1369 (化審法)
C A S N o . D L 体 : 598-82-3 (一般 : 50-21-5)
T S C A 登録有り
E I N E C S D L 体 : 209-954-4 (一般 : 200-018-0)

輸出統計品目	2918. 11-100
輸入統計品目	2918. 11-000

4. 応急措置

皮膚に付着した場合	製品に触れた部分を水または微温湯を流しながら洗浄する。
眼に入った場合	清潔な水で最低 15 分間目を洗浄したのち直ちに医師の手当を受ける。コンタクトレンズを使用している場合は、直ちにはずす。すみやかに空気の新鮮な場所へ出る。その後医師の手当を受ける。
吸入した場合	多量の水、または食塩水を飲ませて、すみやかに医師の手当を受ける。
誤飲した場合	

5. 火災時の措置

消火剤	粉末(ABC)消火器、泡消火器
火災時の特定危険有害性	通常では着火しない。
特定の消火方法	火元への燃焼源を絶ち、消火剤を使用して消火する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	化学用保護メガネ、ゴム長靴、保護手袋を着用する。
環境に対する注意事項	生分解性があるが、酸性物質であるので、河川等への流出を避ける。
除去方法	炭酸ナトリウムまたは炭酸水素ナトリウムで中和した後、砂またはケイソウ土で吸収し、処理用の密閉容器に入れる。少量の場合は、多量の水で洗い流す。廃液は適切に処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	酸性の刺激性液体であるので、保護具を着用し、皮膚等につかないよう注意する。
注意事項	特に無し
安全取扱い注意事項	酸性物質であるので、アルカリ性物質との接触には注意する。
保管	
適切な保管条件	遮光した気密容器にて、常温で保管する。 強塩基からは離しておく。
安全な容器包装材料	ポリエチレン、又は SUS-316L 以上の材質

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	取扱い場所の近くに、安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
保護具	保護メガネ、保護手袋(ゴム製等)、作業衣、保護面

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	
性状	無色透明な粘性の液体で、においがないか、又はわずかに不快でないにおいがあり、酸味がある。
p H	1 以下
物理的状態が変化する特定の温度	
沸点	122°C (1.9~2.0kPa、100%)
融点	18°C (100%)
引火点	無し
爆発特性	該当せず
比重	d ₂₀ ⁰ 1.120~1.130
粘度	4.68 × 10 ⁻³ Pa·s (25°C、54.9%)
溶解性	水、アルコールに混和
溶媒に対する溶解性	log P _{OW} = -0.6
オクタノール／水分配係数	無 (SS400 鋼片、6.23 mm/年)
金属腐食性	

1 0 . 安定性及び反応性

安定性	安定性あり
反応性	アルカリと反応し、中和熱を発する。
避けるべき条件	裸火、過熱、日光
混触危険物質	強アルカリ
危険有害な分解生成物	一酸化炭素

1 1 . 有害性情報

急性毒性	LD ₅₀ 4875 mg/kg (マウス 経口) LD ₅₀ 3730 mg/kg (ラット 経口) (いずれも乳酸 100%として)
局所効果	データ無し
変異原性	細菌を用いる変異原性試験で陰性
刺激性	500 mg/24hr sev. (ウサギ skn) 750 μg sev. (ウサギ eye) 750 μg/24hr sev. (ウサギ eye) (いずれも乳酸 100%として) ウサギの皮膚に対し強度の刺激性あり (乳酸 90%)
皮膚腐食性	有

1 2 . 環境影響情報

残留性／分解性	分解性良好
その他	COD(Mn) 0.13 g/g BOD 0.37 g/g

1 3 . 廃棄上の注意

- 廃棄する場合は焼却によって行い、方法は次のいずれかによる。
- ・ケイソウ土等に吸収させて、開放型の焼却炉で少量ずつ焼却する。
 - ・焼却炉の火室へ噴霧し、焼却する。

1 4 . 輸送上の注意

国際規制	特に無し
その他	車両等によって運搬する場合は、荷送人は運送人に運送注意書きを交付する。 運搬に際しては、容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

1 5 . 適用法令

海洋汚染防止法	有害液体物質 (令別表第1 Z類物質)
食品衛生法	食品添加物

16. その他の情報

【引用・参考文献】

- 1) The Sigma-Aldrich Library of Chemical Safety Data Edition II ; Robert E. Lenga
- 2) 危険物防災救急要覧 神戸海難防止研究会・編 成山堂
- 3) 化学大辞典 共立出版
- 4) Lactic Acid ; C. H. Holten, Verlag Chemie
- 5) 国際化学物質安全性カード(ICSC)日本語版 第4集(第2集改訂版) 化学工業日報社
- 6) 社内資料
- 7) WHO Food Additives Series No.5, 1974
- 8) 変異原と毒性 5(6)579-587 (1982)
- 9) 通産省公報 平成5年12月28日
- 10) 厚生労働省及び環境省による分類結果 (GHSに関する)

【問い合わせ先】

・記載内容の問い合わせ先	・運送中の問い合わせ先
株式会社武蔵野化学研究所	株式会社武蔵野化学研究所
営業本部	磯原工場 業務部
電話番号 03-6810-0242	電話番号 0293-42-1147(代)
FAX番号 03-6810-0148	FAX番号 0293-42-1185

当データシートは、現時点での入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は、通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には、充分ご注意下さい。